

## 日本下肢救済・足病学会賛助会員参加御願いの趣意書

日本下肢救済・足病学会

理事長 大浦 武彦

謹啓

時下、貴社におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

早速ですが、わが国において高齢化社会と生活習慣病の蔓延により動脈硬化に起因する末梢動脈疾患（peripheral arterial disease: PAD）や糖尿病による足病変が急増していることは周知のことです。PAD、CLI が重症化すると下肢切断に至る可能性が高く、患者のADL、QOLのみでなく生命予後にも重大な悪影響を及ぼします。下肢を切断から救う下肢救済（Limb Salvage）の医療の確立は急務と言えます。しかしながら、現在、患者はどの診療科を受診し治療を受ければよいのかがわからず、既存の診療科としても下肢病変の専門的知識や治療技術を持ったものは少なく困っている状況であります。

そこで循環器科医、血管外科医、糖尿病科医、透析医、形成外科医、整形外科医、皮膚科医、看護師、検査技師、リハビリテーション科師など足病治療に関わるあらゆる職種・業界が結集して下肢救済と足病の治療に取り組み、協同の研究と検討を行う場として日本下肢救済・足病学会を設立いたしました。

本学会は、1) 下肢救済・足病変治療 Stream 2) 下肢・足病の検査・診断、機器開発、足病に関わる基礎疾患治療 Stream 3) 看護、看護ケア、予防、リハビリテーション、フットケア・装具 Stream の構成になっており、下肢病変に対して、①治療法の確立、ガイドラインの作成、研究、機器開発事業、②教育、講習会、普及活動、③足病予防活動を主目的とし、足病をもつ患者さんの救済と社会復帰を目指しています。また、これらの活動を通じて海外との積極的な連携などを展開して参りたいとお願いいたしております。

つきましては、これらの事業を本学会として推進するため、是非貴社のご理解をいただき、賛助会員としてご協力いただければ幸甚に存じます。

末尾になりますが、貴社の益々のご清栄を心から祈念致します。

謹 白